

平成28年度事業計画

事業概要

I 事業の目的

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図るため教育、学術及び文化に関する各種の事業を推進するとともに、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与することを目的としている。

川崎市民が生涯学習活動に参加する機会を得ることは、市民一人ひとりが幸せな日々と豊かな人生を築き上げ、人生の目的を達成する上で大変有意義なことである。

また、生涯学習を通じて市民相互のコミュニケーションや連携が一層図られるよう、地域における様々な活動への参加や取組を支援する。

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、市民のライフステージに応じた幅広い学習ニーズと公益性を根幹におき、公共性と公平性を優先にした生涯学習事業を推進することによって、豊かな生涯学習社会の実現と市民の参加と協働による市民主体のまちづくりに貢献する。

II 事業の基本的な考え方

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、次の基本的な考え方に基づき事業を推進する。

- (1) 全市的・広域的な視点から市民の課題解決に向けた生涯学習を支援する。
- (2) かわさき市民アカデミーへの支援やシニア活動事業の展開など、市民の高度・専門的な学習の求めに対応した学習の場の提供を支援する。
- (3) 学校教育やNPO法人、民間事業者との多様な連携・協力により公益財団法人の特性を活かした事業を展開する。
- (4) 市の生涯学習に関わる計画とも連携して市民の生涯学習活動に参加する機会の提供を支援する。
- (5) 本年度も生涯学習推進特定資産を活用し市民の生涯学習活動事業を推進する。

III 公益目的事業

1 生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援事業

(定款第4条第1項第1号・2号・3号)

- (1) 生涯学習に関する学習機会提供事業 (定款第4条第1項第1号)

① かわさき市民アカデミー協働事業

川崎市が全国に誇れる「市民大学」としての「かわさき市民アカデミー」は市民が生涯にわたる学習と社会参加を通して積極的に生きることを支援し、活力ある地域社会の創造をめざす市民のための学習機会の提供事業である。

平成22年度までは当財団が運営を行ってきた事業であり、引き続き財団は協働事業として事業広報と会場の確保、対外活動支援等の役割を担い、市民の高度・専門的な学習機会の提供を推進する。

② 川崎市青少年地域間交流事業（ふれあいサマーキャンプ）

公益財団法人川崎市生涯学習財団が川崎市教育委員会、一般財団法人川崎教職員会館とともに、PTA、校長会、青少年団体等で構成する「川崎市青少年地域間交流事業実行委員

会」を設置し、川崎市の小中学生が、全国の自治体とその住民との交流を通して、豊かな自然や生活・文化にふれ、心身ともに健康に育つことを目的として実施する。

交流事業の一環として交流自治体の青少年の川崎市への受入れも行う。

コース（期間）	実施日	参加予定数
ア) 島根県益田市コース (3泊4日)	平成28年7月23日(土) ～7月26日(火)	小学生14名 中学生 6名
イ) 和歌山県古座川町・太地町コース (3泊4日)	平成28年7月26日(火) ～7月29日(金)	小学生16名 中学生 8名
ウ) 長野県富士見町コース (3泊4日)	平成28年7月30日(土) ～8月 2日(火)	小学生30名 中学生10名
エ) 岩手県花巻市コース (3泊4日)	平成28年8月 2日(火) ～8月 5日(金)	小学生16名 中学生 8名
オ) 北海道中標津町コース (3泊4日)	平成28年8月17日(水) ～8月20日(土)	小学生16名 中学生 8名
カ) 交流自治体の青少年受入 和歌山県古座川町児童の受入 (2泊3日)	平成28年8月24日(水) ～8月26日(金)	小学生12名

③ キッズセミナー

認定NPO法人教育活動総合サポートセンターとの連携・協力事業。小学校3年生から6年生を対象に、夏季休業中に体験活動等を通して新たな興味・関心を喚起しながら、学習活動の充実を図ることを目的に実施する。

期間：平成28年7月25日～7月29日（5日間）

内容：理科、算数、工作、パソコンなど延べ23講座

会場：生涯学習プラザ

④ 子ども陶芸教室

生涯学習プラザ陶芸室を活用し、陶芸を学ぶ市民（陶芸教室受講生）のボランティア活動を促進するため、夏休み期間に小中学生を対象とした「子ども陶芸教室」を開催する。

⑤ 施設提供事業

生涯学習プラザの施設（多目的ルーム、フィットネスルーム、活動室、研修室、会議室等）を広く学習機会の場として提供する。

(2) 生涯学習に関する活動支援事業（定款第4条第1項第2号）

① シニア活動支援事業

シニア市民を対象に、これまで培ってきた経験や知識及びかわさき市民アカデミー等で学んだ学習成果を、活力ある地域社会づくりや学校支援に生かすことを目的に実施する。

ア) 生涯学習ボランティア等の養成

生涯学習ボランティアとして「小学校パソコン授業ボランティア」「特別支援教育ボランティア」等の養成講座を開設する。

保育ボランティアとして「保育ボランティア養成講座」を開設する。

イ) 生涯学習ボランティアの派遣

生涯学習ボランティア養成講座修了者を学校等に派遣する。また、既存の「環境出前授業ボランティア」も派遣する。派遣に際しては、学校及び各区の学校支援センターとの協

力による学校ニーズの把握や派遣計画に基づき進める。

「保育ボランティア養成講座」修了者に財団事業等で保育付の教室・イベントを実施するにあたり、保育ボランティアとして活動してもらうことで学習の成果を発揮する場を提供する。

また、ボランティアの活動を支え円滑な派遣を行うため、「特別支援教育ボランティア交流会」等の意見交換の場を提供する。

ウ) 地域協働講座の実施

学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす目的で、認定NPO法人かわさき市民アカデミーと協働で実施する。福祉、健康、まちづくり、企業連携、大学連携などの視点から、「地域に貢献している川崎の会社と人々」「傾聴ボランティア講座」「かわさき育ちを知ろう」など、地域との密着性が高い講座を前期・後期に分け、合わせて10講座程度開講する。

地域協働講座においては連続講座の特性を損ねない範囲で1コマの受講を可能とすることで受講者の要望に対応する。

エ) シニア活動講演会の開催

シニア世代が地域でいきいきと活動し生活するための課題について考える機会として年1回講演会を開催する。

② その他支援事業

ア) ランチタイムロビーコンサート

生涯学習プラザ1階ロビーを、市内で音楽活動に取り組むグループ等の演奏会場として提供し、市民による音楽活動を支援する。

イ) なかはらママカフェin生涯学習プラザ

中原区役所との共催により、生涯学習プラザ1階活動室・ロビーを子育て中のママ・パパ達が気軽に立ち寄り交流できる場として提供し、区の子育て施策を支援する。また、「社会福祉法人しいの実会」によるクッキーやコーヒーの出張販売による就労支援を行う。

(3) 生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業 (定款第4条第1項第3号)

① 生涯学習情報の収集並びに学習相談

市民に幅広く情報の提供を行うため、生涯学習に係わる諸事業や人材・団体情報の収集を行ない、これらをもとに市民からの生涯学習に関する相談に対応する。

② 生涯学習情報誌による情報提供の継続

市民や団体グループの活動紹介や学習施設紹介、各種講座やイベント案内などを定期的に情報収集し、提供する

ア) 生涯学習情報誌「ステージアップ」：年6回 各10,000部発行

イ) 「かわさきの生涯学習情報(KSJ)」：年8回 各5,000部発行

③ インターネット活用による情報提供の継続

ア) ホームページ「かわさきの生涯学習情報」を充実させることにより、生涯学習に関わる講座・イベント、生涯学習関連施設、団体・グループ、指導者・人材等の情報収集及び提供を行い、利便性を向上させる。

イ) 「かわさきの講座・イベント情報検索システム」により川崎市が提供する生涯学習情報の利便性の向上を図る。

ウ) メールマガジンの登録・配信

メールマガジン登録者に生涯学習情報を毎月1回配信する。

④ FMラジオ放送による情報提供

毎月第1木曜日にかわさきFM（かわさき市民放送）に出演し、財団の施設や講座、指定管理施設のイベントなどを、市民に提供する。

⑤ その他の情報提供

公益財団法人市民活動センターが主催する「ごえん楽市（かわさきボランティア・市民活動フェア）」や教育委員会が主催する「公開講座体験」などの市内イベントに参加し、財団の活動や情報提供の内容などを市民や活動団体等に発信する。

2 生涯学習関連施設管理運営事業

（定款第4条第1項第4号）

(1) 指定管理2施設の管理・運営

教育関連の特定非営利活動法人与共同運営事業体を構成して、川崎市の指定管理業務を受託し、適切な施設運営により生涯学習の裾野を広げる。

施設名	指定管理期間	構成共同運営事業体	事務所管課
大山街道 ふるさと館	平成26年4月1日～ 31年3月31日 (5年間、第3期)	認定特定非営利活動法人 教育活動 総合サポートセンター (第2期から共同運営事業体 を組織)	高津区役所 まちづくり推進部 総務課
子ども 夢パーク	平成28年4月1日～ 33年3月31日 (5年間、第3期)	特定非営利活動法人 フリースペースたまりば	こども未来局 青少年育成課

ア) 共同運営事業体で指定管理の課題解決にあたる経営委員会等を設置する。

イ) 指定管理施設においては自主事業を計画実施し利用者の満足度向上に資する。

(2) 指定管理申請に向けての取組

ア) 市民ミュージアムの指定管理者制度の導入にあたり当財団では、民間事業者と共同運営事業体を構成し平成28年度の指定管理申請を行う。

<大山街道ふるさと館>

平成26年度から平成30年度までの5年間の第3期指定管理を認定NPO法人教育活動総合サポートセンターと共同運営事業体を構成し、運営を行うが、本年度は3年目となる。

(1) 計画の概要

大山街道は、江戸期の主要道である東海道の脇往還の一つとして庶民の生活を支え、庶民文化発祥の源ともなってきた。その宿場として栄えた二子・溝口にはいまだ往時の面影を残す町並みがあるとともに、この地で育った芸術家や作家の足跡も残されている。そして、近くには先人の知恵と汗の結晶ともいえる二ヶ領用水が流れている。

大山街道ふるさと館では、この街道や用水に係わる歴史・民俗などの資料や郷土にゆかりある美術・文学作品などの展示を行なう<博物館事業>、市民や子どもたちにさまざまな学習の場や意見交流の場を提供し郷土理解や地域連帯を深める文化・体験講座を行う<歴史文化探究

事業>、地域の活性化をめざし主催事業と地域との連携を図る<地域活性化事業>を「歴史をつなぐ 人をつなぐ 大山街道ふるさと館」という基本理念のもとに計画・実行していく。

本年度は、地域活性化事業として区役所や地域団体と連携した「春のふるさと館まつり」を新たに開催するとともに、ホームページのリニューアルによる情報発信の充実を行う。

(2) 計画の具体的内容

ア 施設提供事業

事業名	実施月日	対象	内容
貸館事業	通 年	市民団体他	イベントホール、会議室(第1・第2)、和室など施設・設備・備品等を市民に提供する。

イ 博物館事業

事業名	実施月日	対象	内容
常設展	通 年 (企画展等の開催時期を除く)	市民他	展示室において「大山街道 ふるさとの歴史・民俗・自然展」として、郷土にかかわる資料や郷土にゆかりのある美術・文学作品などの展示を行う。 来館者のニーズに応える展示説明ガイドを行う。 DVD「魅力いっぱい大山街道～二子・溝口を歩く～」を展示中に放映する。
企画展 ・ 第1回企画展	6月17日(金) ～ 6月20日(月) (4日間)	市民他	展示室を使い、年3回実施。 高齢者の“ゆとり・生きがい”を求める生涯学習の一環として高津区老人クラブ連合会会員が制作した絵画、陶芸、書道、編み物などの作品の発表の場「市民参加の作品展」を開催する。
・ 第2回企画展	6月25日(土) ～ 7月31日(日) (37日間)		ある郷土史家の見たふるさと高津～上田恒三氏寄贈史料から～(高津区民祭参加事業) テーマ「維新動乱期の溝口の当時の様子」
・ 第2回企画展 記念講演会	7月17日(日)		イベントホールにおいて、元明治大学大学院講師 渡辺賢二氏を講師に「維新動乱期の歴史の流れ」をテーマに講演会を開催する。
・ 第3回企画展 ふるさと館まつり展 (大山街道フェスタ参加事業)	2月11日(土) ～ 2月17日(金) (7日間)		趣味が創り出す知と美と感動の世界としてふるさと館で活動している文化団体の作品を展示する「地域が創出するカルチャー展」を開催する。
ミニ企画展 ふるさと発見展	年3回	来館者	館内の掲示板を使ってふるさと高津の歴史を分かりやすい内容で2ヶ月間展示する。 「多摩川氾濫の歴史」4・5月中 「坂戸・北見方村の歴史」9・10月中 「上・下作延村の歴史」1・2月中 (ミニ企画展期間以外は個人作品などを展示)

アーカイブ展示	随 時	来館者	館内の掲示板を使って大山街道や川崎の昔と現代の写真などを展示する。
古文書管理	通 年	—	上田氏寄贈史料を中心に文書の解説などをし、リスト化、デジタル化をする。
資料収集	通 年	—	郷土高津に関する資料（史料）の収集し、ミニ企画展等で活用する。
リファレンス	通 年	利用者	利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に館員が情報や資料を検索・提供・回答する。 来館者への展示案内・説明を行う。

ウ 歴史文化探究事業

事業名	実施年月日	対 象	内 容
歴史探究講座 ・第1回講座 宿場シリーズⅠ ・第2回講座 宿場シリーズⅡ ・第3回講座 宿場シリーズⅢ	年3回 9月10日(土) 10月15日(土) 2月11日(土・祝)	市民他 定員60名 定員60名 定員60名	イベントホールを使い、年3回開催する 「東海道川崎宿」 講師:三輪 修三氏(歴史研究家) 参加費500円 「中原街道小杉宿」 講師:池上 真由美氏(歴史研究家) 参加費500円 「大山街道二子・溝口宿」 講師:鈴木 穆氏(郷土研究家) 参加費500円
街道学習講座 ＜大山街道の 魅力再発見＞ ・第1回街道歩き ・第2回街道歩き ・第3回街道歩き	10月27日(木) 11月10日(木) 11月24日(木)	市民他 定員25名 定員25名 定員25名	街道を歩き歴史や魅力を体感する。 ～なるほど！歩いて楽しい大山街道～ 参加費:3回で1,000円 海老名～厚木渡船 講師:中平龍二郎氏(大山道研究家) 厚木渡船場～厚木宿 講師:中平龍二郎氏(大山道研究家) 厚木宿～愛甲石田 講師:中平龍二郎氏(大山道研究家)
ふるさと発見講座 ・第1回 川崎の発展に 尽くした人物伝Ⅰ ・第2回 川崎の発展に 尽くした人物伝Ⅱ	5月14日(土) 12月7日(水)	市民他 定員60名 定員60名	イベントホールを使い、年2回開催 ～内藤陵雲を中心とした川崎の石工たち～ 講師:林 浩一氏(郷土研究家) 参加費500円 ～未 定～ 講師:小川 信夫氏(演劇作家) 参加費500円

ふるさとまち歩き ・第1回まち歩き	4月23日(土)	市民他 定員30名	まち歩きをしながら地域の歴史を学ぶ 溝ノ口から上作延・下作延へ (神明神社、上之橋、延命寺、円福寺、 津田山トンネル、善養寺) 講師:佐藤忠氏(高津シルバーガイドの会代表) 参加費500円
・第2回まち歩き	1月11日(水)	定員30名	二子新地から諏訪、北見方へ (一本松、諏訪神社、明王院、諏訪天神塚、 白髭神社、正福寺) 講師:佐藤忠氏(高津シルバーガイドの会代表) 参加費500円
中学生のための 郷土理解講座	8月8日(月)	中学1年生 定員60名	「探ろう! 大山街道の魅力」 講師:未定 大山街道が人々に与えた機能や生活の 向上に役立った史跡などについて学習し、 郷土への愛着心を育む中学生向け講座。
街道学習受け入れ 事業	随時 強調期間 7~8月	主に 小・中・高生	来館者に大山街道やふるさと館の説明を したり、資料提供したり、質問に答えたり、参 考図書を紹介したりして、大山街道や高津 地域に関する学習の支援を行う。学校が夏 季休業となる強調期間には、課題学習への 積極的な支援を行う。
ふるさと館子ども 出前授業	6月中旬 ~2月	小学校 5校 700名程度	ふるさと館の近隣小学校を中心に郷土学 習の支援を行う。 ふるさと館の近隣小学校を訪問し、郷土 学習の支援を行う。主に3年生を対象とし て、大山街道や地域の歴史などについての 授業を行う。
子ども大山街道 探検クラブ	原則月1回	近隣の小学 3年生以上 定員30名	大山街道沿いの史跡の見学や、奉仕的活 動及び昔遊びなどの体験的な活動を通して、 子どもたちの郷土への愛着心を育むクラブ活 動を行う。 教材費等1,000円 4月発足の結団式、5・6・10月街道歩き、6 ~8月地域の歴史夏休み自由研究、9月地域 の清掃・美化活動、11月めんどりの会による お話し会、12・1月「あゆプロジェクト(あゆの絵 付け)」や昔遊び、2・3月活動報告等。

エ 地域活性化事業

事業名	実施年月日	対象	内容
大山街道地域 コーディネーター事業	年間	地域代表者 3名程度	ふるさと館諸事業と地域との連携を深め、 地域活性化事業を円滑かつ効率的に進め るため地域コーディネーターを配置する。

大山街道 サポーターズ クラブ事業	通 年	地域の 町内会、 団体等	昨年度設置されたサポーターズクラブの活動を充実させ各主体事業の展開に協力することで地域との連携による地域活性化をめざし、サポーターズクラブによる企画事業を実施する。
みちまちラウンジ 事業	開館日	館利用者 市民団体	談話室を利用し、館利用者や街道歩きの方の休憩所を運営する。談話室に溝口・二子にゆかりの図書を配架、今年度から、印刷機を設置し市民活動の広報・資料等の支援を可能にする。
かえるプロジェクト 協力事業	月 1 回	市 民	川崎市が協力している廃油回収ポイントに協力する。

オ 地域開放事業

ふるさと館まつり	2月11日(土)	市民他	第3回企画展「地域が創出するカルチャー展」、第3回歴史探究講座「大山街道二子溝口宿」、高津アーカイブ展示を行うことで館まつりとする。 館まつりとして大山街道フェスタへ参加する。
大山街道フェスタ 協力事業	2月11日(土)	—	大山街道フェスタへふるさと館まつりとして参加することで協力する。
高津区民祭 参加協力事業	7 月	—	高津区民祭の本部会場として館を提供する。 第2回企画展「ある郷土史家の見たふるさと高津展」、第2回企画展記念講演会の開催で区民祭に参加する。
談話室の整備	4 月	市民団体	印刷機を設置し市民活動の広報・資料等の作成を支援する。 来館者向けに大山街道や郷土にゆかりのある人に関連する図書を配架する。
中庭の利便性の 向上、利用拡大	通年	市民他	中庭に備えたベンチなど、来館者や通行人にも使ってもらえるよう整備する。
春のふるさと館まつり	6 月	市民他	大山街道の歴史DVD上映、ダンスイベント、絵本読み聞かせ等を館内で実施する。

カ その他

事業名	実施年月日	対 象	内 容
大山街道 ふるさと館 運営懇談会	6 月、1 月	大山街道ふるさと館運営委員	大山街道ふるさと館の運営についての情報交換、意見交換の場として開催する。 ふるさと館運営について、地域関係者等から理解・支援をいただくとともに、館運営の改善の機会とする。
満足度アンケート	①通 年 ②年 4 回 ③年 1 回 ④開催時	①来館者 ②利用団体 ③職員 ④事業参加者	利用者の声を館運営に反映させる。 ①来館利用者の意見・要望 ②貸館利用者の声を聞く ③職員の共通認識 ④参加者の声を聞く

グラスウォールの説明文設置	通年	市民他	館の前を通行する人たちに館の存在をアピールできるよう、年度当初にグラスウォールの写真に説明書きを表記する。
コピーサービス	年間	館利用者	事務室で有料コピーサービスを行う。
自主製作映像の活用	通年	地域団体・教育施設	館制作の映像(DVD)を広く地域団体や教育施設に貸出(無料)し、大山街道や高津区の歴史等についての理解が深まったり、広がったりすることをめざす。また、新たな映像資料(DVD)の制作を行う。
ホームページのリニューアル	通年	インターネット利用者	年度当初に大山街道ふるさと館ホームページをリニューアルする。管理者が適時更新できるようにし、情報発信の充実を行う。
広報活動による地域との連携	通年	地域コミュニティー紙	地域に配布されるタウン紙(タウンニュース、K-Press)や沿線誌(サルース)などに広報記事を依頼する。 テレビ・ラジオ・新聞等のマスコミへの積極的なアプローチを行う。 区にも協力をいただき、区内文化団体、公共施設、町内会自治会などに事業チラシやふるさと館だより(奇数月発行)の配布拡大を行う。
目的に合わせた配布物の作成	通年	市民他	パンフレットなどは目的に合わせたものを作成し、来館者や市民等に配布する。 ・多言語:ふるさと館パンフレット(日本語版／英語版) ・まち歩き:大山街道ウォッチングガイド ・館案内:ようこそ大山街道ふるさと館へ 常設展・企画展案内 ・通行人:グラスウォールの写真説明 ・貸館用:施設・設備利用リーフレット
市外地域との連携・交流	通年	世田谷区、伊勢原市	大山街道に関連する世田谷区、伊勢原市との連携・交流活動を進める。 相互の講座・イベント開催の情報提供やPRなどを行う。
他博物館施設との連携	通年	他博物館	市民ミュージアム、公文書館、地名資料室、東海道かわさき宿交流館などの博物館と共催事業や情報交換などを通して、連携を深めていく。 「かわさきのミュージアム」の作成や講座の情報提供など
防災・消防訓練(非常時対策)	通年	職員・来館者	大地震、火災、水害などの災害や事故、設備などのトラブルなどに備え、避難訓練、消火訓練などを行う。 ○避難訓練・消火訓練:5月、11月 ○「帰宅困難者受け入れ施設」として、運営マニュアルの共通理解を図るとともに、備蓄品の管理等を行い、対応を図る。

キ 自主事業

事業名	実施年月日	対象	内容
ガイドブック 「訪ねて楽しい 大山街道」の 改訂・増刷・販売 および物品等の販売	通 年	館利用者 市民他	平成24年にふるさと館が創刊したガイドブック「訪ねて楽しい大山街道」を改訂、増刷し(第3版)、販売する。 また、大山街道にかかわる書籍や物品を受託販売する。 ・風人社の書籍 ・世田谷大山みちの会の手拭 ・伊勢原市・大山の物品
「街のマイスター」 体験講座	6月*日 お茶 2月*日 日本酒	市民他	地域の商店主の専門性を生かし、講師になっていただく中で、参加者には体験的な学びを楽しんでいただく講座。「お茶のおいしい飲み方」「日本酒の話あれこれ」など。
ぶらり散歩 ～二子散策と老舗 料亭でのお茶を楽しみませんか～	11月1日(火)	市民他	二子地域の史跡を巡りながら歴史散歩をするとともに、途中でお茶などを楽しみながら豊かな時間を過ごす企画。
ファーマーズ マーケットが やってきた	6月上旬 9時半～ 12時	市民他	「春のふるさと館まつり」の中心イベントとして、「エコシティたかつ」推進事業の一つである「たちばな農のあるまちづくり」を具体化した「高津さんの市」の「出張・高津さんの市」を開催する。
地域学習協力事業	随 時	小学生・ 中学生・ 市民	小学校・中学校等のニーズに応え、地域学習や文化学習等で出前授業等の講師を紹介・派遣する。

<子ども夢パーク>

平成28年度から平成32年度までの5年間の第3期指定管理を、NPO法人フリースペースたまりばと共同運営事業体を構成し、5年間の運営を行う。

(1) 計画の概要

【概要】

「子どもの、子どもによる、子どものための施設」として、「児童の権利に関する条約」「川崎市子どもの権利に関する条例」及び「川崎市子ども夢パーク条例」の理念に基づき、その具現化を図る。子どもが自由な発想で遊び、夢を育む場。子どもの自主的、自発的活動を支援し、それぞれの子どもの成長に応じて、自分たちの活動拠点を自分たちの手でつくり続ける、子ども参加型の居場所づくりを目指す。

平成28年度は第3期指定管理の初年度であることから、5年間を見据え、職員研修や自主事業を順次取り入れていくことで、職員の資質や利用者の利便性の向上をめざす。

【日常の取組み】

川崎市子ども夢パークは「プレーパーク」「フリースペースえん」「子どもの活動拠点」

の三本の柱で成り立つ。

- プレーパーク 自分の責任で自由に遊ぶ冒険遊び場を常時開設。土や水、火や木材などを使い自由につくりかえられる遊び場で、月・水・土・日曜日と大型連休（まいにちがプレーパークの日）は火と工具が使用出来る。
- フリースペースえん 月～金曜日に開設されている登録制の不登校児童・生徒の居場所で、連続・単発の講座などから子ども自身が選択し、一日の過ごし方を決める。
- 子どもの活動拠点 「スタジオプロジェクト」「横丁会議」など子ども達の自主的な活動の場としている。また「川崎市子ども会議」とも連携している。

(2) 事業計画内容

ア イベント事業

事業名	月 日	対 象	内 容
夢パまつり 2016 祝！13周年	7/18 (月・祝)	子どもを含む市民	夢パーク全体を使って、思いきり水遊びができるイベントを開催する。食べ物屋や、地域の方の協力による盆踊り等を行う。また「夢パーク」の周年行事としてのお祝いも行う。
かわさき 子どもの 権利の日事業 こどもゆめ横丁 2016	11/6(日)	子どもを含む市民	子どもたちが仲間を集め、廃材を使ってお店づくり・商品づくり、当日の営業・片付けまですべて子どもたち自身が行うイベントを開催する。当日は、食べ物や様々な遊びのお店が軒を並べる。子ども参加の促進を目指し、こどもゆめ横丁の企画・運営に関しては、出店者である子どもたちとスタッフで「横丁会議」を開催し、話し合いを重ねていく。 昨年はかわさき子どもの権利の日事業夢パーク共同事業として、横丁内に「かわさき子どもの権利の日」の掲示板を建設した。
初夢！ 新春イベント ～もちつき、 どんど焼き、 昔遊び～	1月上旬	子どもを含む市民	日本の伝統文化や風習を体験できる、地域交流の行事。もちつき・どんど焼き・紅白だんご、書き初め、かるたやベーゴマなどの昔遊びを、支援委員会や地元町内会・学生など多くのボランティアの協力のもと開催する。
KU J I R O C K クジロック	年3回 程度	子どもを含む市民 (出演者) スタジオ 利用者	スタジオプロジェクトが中心となって企画・運営する「KUJIROCK(クジロック)」を年3回程度開催する。日程はスタジオプロジェクトで決定していく。 2階の学習交流スペース「ごろり」がライブ会場に変身。企画から調整・準備・片付けまで運営全てをスタジオ利用者(出演者)中心に手づくりで本格ライブを行う。

イ 日常的な事業

事業名	実施月日	対 象	内 容
まいにちが プレーパークの日	4/29(金・祝) ～ 5/5(木・祝)	子どもを含む市民	ゴールデンウィークの期間中は、月・水・土・日以外の曜日でも焚き火や工具を使えるようにする。 5/3～5日はミニイベントも開催する。

クリスマス イベント	12/23 (金・祝)	子どもを 含む市民	子どもたちとクリスマスの雰囲気を楽しみながらゲームやクリスマスの歌を合唱したりあそぼうパンをする。
親子でもっと あそぼう会	第2・4 水曜日	乳幼児親子	乳幼児親子が屋外での遊びを楽しめるように、水遊びやかまどを使った煮炊きなど、屋外での遊びを展開する。屋外での遊びを通じて親子や親同士の交流を図る。 夢パーク支援委員会と共同開催。
おはなし ^{x2} パーク	第1木曜 第2火曜 第3木曜	乳幼児親子	ボランティアによる乳幼児むけの絵本の読み聞かせ会を月に3回実施。
ベーゴマの日	月1回	子ども おとな	昔遊びの継承のため、ボランティアの協力を得てベーゴマ大会を開催する。
野球大会	第3土曜日	子ども おとな	近隣のあすか製菓のグラウンドを借り、年間を通して子ども野球大会を開催する。
スタジオ講習	月3回	子ども おとな	本格的スタジオA・Bの機材や予約・利用の仕方についての講習を行う。
スタジオ利用	毎日 5コマ×2	子ども おとな (登録制)	スタジオA・Bを、音楽(バンド・楽器・歌)の練習・発表に利用。
畑の日	毎週水曜日	子ども おとな	子どもたちと畑で花や野菜などを育て、収穫し、たき火などで調理して食べる。 毎月1回の畑ミーティングも行う。
きれいにし隊	毎週水曜日	子ども スタッフ	近隣地域や夢パークの清掃を子どもとスタッフで行う。
おさがりバザール	1週間 ×年6回、 イベント時	子どもを 含む市民	夢パークに来所する保護者に呼びかけ、子どもが大きくなって着られなくなった子ども服などを持ち寄り、それを乳幼児の保護者が譲り合う機会を作る。
スタジオ プロジェクト	随時	スタジオ 利用者	スタジオ利用者が、ライブ(KUJIROCK)の企画運営を行い、交流を深める。またスタジオの利用方法なども考えていく。
横丁会議	随時	子ども	こどもゆめ横丁の企画・運営に関わり、スタッフと一緒にこどもゆめ横丁を作り上げていく。また、こどもゆめ横丁での利益の一割を横丁税として集め、その使い道を子どもたちと話し合いで決める。 過去には、子どもたちの希望で、さくらんぼの木の植樹や、トランポリン、ハンモックぶらんこ、トロッコなどの材料費にあて遊具づくりを行った。

ウ 情報発信事業

事業名	実施月日	対象	内容
夢パークつうしん 発行	隔月	全市	夢パークの行事・特集を掲載、夢パークの理念や事業について発信。各号9,000部発行 (夢パークつうしん編集委員会)
ホームページ 作成・更新	随時	全市	夢パークの理念や事業、スケジュールについて発信する。今年度は年度初めにリニューアルを行う。

その他広報	通 年	全 市	新聞・雑誌などの情報紙やテレビに夢パークの理念や事業を紹介。川崎市や生涯学習財団、フリースペースたまりばなどのホームページへの情報掲載。
-------	-----	-----	--

エ 研修事業

事業名	実施月日	対 象	内 容
ボランティア等 研修事業	未 定	関心の ある人	子どもの遊び・活動・居場所を支援するボランティア等の研修を行い、育成を図る。
スタッフ研修	未 定	スタッフ 支援委員	夢パークを運営するうえで、必要と思われる知識・情報・技術などを修得する。
研修等の受入れ	未 定	生徒・学生 施設職員等	大学等の社会教育実習、子ども・青少年施設職員研修等の受入れを行う。
防災訓練	9/1(木)	子どもを含 む市民・ スタッフ	夢パークスタッフと利用者で避難訓練を実施。災害に備え、各役割を確認しながら訓練する。
視察・見学等の 受入れ	通 年	関心の ある人	原則、水・金曜日の午前中を視察受け入れ日とする。見学は随時受入れる。
スタッフ ミーティング	月2～3回	スタッフ	夢パークを運営する上で必要な情報交換・協議を行う。

オ 会議

事業名	実施月日	対 象	内 容
川崎市 子ども夢パーク 運営会議	年 3 回	会議委員	子どもをはじめとする青少年活動を促進することを目標とし、夢パークの運営に関わる諸課題等について協議するとともに、夢パークの事業運営に参加することを目的に設置する。
夢パーク 連絡会議	月 1 回	各責任者	共同運営事業体担当者、夢パーク所長・副所長、事務責任者、プレーパーク責任者、えん責任者、支援委員会代表者で構成。夢パークの運営に関する連絡会議。
夢パーク 担当者会議	月 1 回	各担当 責任者	夢パーク所長・副所長、事務責任者、プレーパーク責任者、えん責任者、支援委員会代表者で構成。夢パークの運営に関する執行機関。

カ 連携事業(市民・地域・行政)

事業名	実施月日	対 象	内 容
夢パーク 支援委員会	随 時	ボランティア	開所前から関わっている運営準備会の市民を中心に、夢パークの運営に参加。スタッフと協働でさまざまな事業を行う。
夢パークを つくりつづける会 (利用者懇談会)	第 3 土曜日	利用者 スタッフ	夢パークを利用している団体・グループ・ボランティア・個人と支援委員会・スタッフの懇談会。
世話焼き会	随 時	ボランティア	夢パークのプレーパークエリアの利用の方法や、遊びなどを考えるボランティアの組織。
かわさき遊び場 ネットワーク	月 1 回定例会	子どもを含 む市民	川崎市内のプレーパークづくりに関心ある人たちのネットワーク。イベントや講演会などを共催。

川崎市 子ども会議	月2回ほか	川崎市内の 子ども会議	川崎市子ども会議の活動拠点。川崎市子ども会議事務室の利用調整。
高津区 地域教育会議	随 時	高津区内の 団体・市民・ 行政等	区内青少年教育施設として参加。
高津区子ども・ 子育てネットワーク 会議	随 時	高津区内の 子育て当事 者・関係者	区内青少年教育施設として参加。子ども及び子育てに関わる情報の共有や発信を行うとともに、子ども及び子育てに関係する諸施設とのネットワークをつくる。
子どもの 権利の日のつどい 実行委員会	随 時	川崎市内で 活動する 団体等	川崎市子どもの権利に関する条例第5条による「かわさき子どもの権利の日」の事業を市と市民が協働して推進することを目的とした実行委員会に参加。
高津区こども・ 子育てフェスタ	年1回	高津区内の 子育て当事 者・関係者	実行委員として参加。夢パークの情報展示と、カラーパンフレットや夢パークつうしんを配布し、広報活動を行う。
みやまえ子育て フェスタ	年1回	宮前区内の 子育て当事 者・関係者	夢パークの情報展示と、カラーパンフレットや夢パークつうしんを配布し、広報活動を行う。

キ 自主事業

事業名	実施月日	対 象	内 容
子どもに関わる おとなのための 研修会・講演会	夏ごろ	一般	○公開講座「子どものSOSをキャッチする」 講師 天野秀昭（大正大学人間学部特命教授/NPO法人日本冒険遊び場づくり協会事務局長） 山下英三郎（日本社会事業大学名誉教授/NPO法人日本スクールソーシャルワーク協会名誉会長） 西野博之（NPO法人フリースペースたまりば理事長/川崎市子ども夢パーク所長）
	秋～冬 3回開催	プレー ワーカー 希望者	○「プレーワーカー養成基礎講座」 講師 天野秀昭（大正大学人間学部特命教授/NPO法人日本冒険遊び場づくり協会事務局長）
	秋～冬 3回開催	ソーシャル ワーカー 希望者	○「ソーシャルワーカー養成基礎講座」 講師 山下英三郎（日本社会事業大学名誉教授/NPO法人日本スクールソーシャルワーク協会名誉会長）
講師・スタッフ の派遣・実習の 受け入れ	通 年		講師・スタッフの派遣、スタッフ養成・学生等の実習の受け入れを行なう。

3 生涯学習活動及び情報に関する運営管理受託事業

(定款第4条第1項第5号)

(1) 市民ミュージアム学芸業務

財団学芸室では川崎市からの受託事業として、企画展や常設展などの展示、映画上映、イベント、資料や作品の収集及び保存・整理、調査・研究などの川崎市市民ミュージアムにおける学芸業務を行っている。

事業名	事業概要	事業計画
常設展	収蔵作品及び資料等の常設展示を行う	博物館展示では、旧石器時代から近現代まで、1万年以上前から続く川崎の歴史を紹介するとともに、地域の中で育まれた生活文化や信仰も展示する。また、マンスリー展示や近現代特集展示を中心に展示替えを実施し、新たな研究成果や新資料の公開に努める。
企画展・アートギャラリー展・及びイベントの開催	企画により国内外の作品及び資料の展示を行う。 講演会、イベントを開催する。	○企画展(企画展示室1, 2, アートギャラリー) 「生きるアート 折元立身」 「描く! マンガ展」 「&(アンパサンド)がかたちをひらくとき」(アートギャラリー) 「旅する人びと」 「昔のくらしと道具展」 「第50回かわさき市美術展」 「フロンターレ展」 ○アートギャラリー 一期 「シリーズ・映像のクリエイティビティ ナム・ジュン・パイクとトシコ・クボタ」 「シリーズ・川崎の美術 樋口正一郎と井川惺亮」 二期 「青年マンガの世界展」 「山岳写真展」 「ベスト・セレクション展」
上映(映画・映像)	映像ホールでのフィルム上映及び情報コーナーにおける図書・ビデオソフト等の閲覧及びミニホールでのビデオ上映を行う。	○映像ホールでの上映 「リニューアル特集」 「ポーランド映画祭」 「ポーランド・コレクション」 「S・アラノヴィッチ(映画監督)特集」 「社会派エンタテインメント」 「ゴジラ特集」 「マンガと映画」 「映像のクリエイティビティ」 「映画で見る平和への願い」 「オリヴェイラ(映画監督)特集」 「旅さまざま」 「川崎ゆかりの映画人」 「インディペンデント映画特集」

		<p>○ミニホールでの上映 毎月火曜日にビデオの定期上映を行う。 「日本の伝統・工芸品・極める匠の世界」シリーズ 「祭りの記録映像」シリーズ 地域・テーマごと 「すばらしい世界旅行」シリーズ 世界の少数民族・秘境を紹介 「日本映画傑作選」シリーズ 日本の喜劇映画を紹介</p>
調査・研究	それぞれテーマを設け、外部の機関や研究者とともに調査研究する。	<p>○博物館資料調査・研究 ・蟹ヶ谷古墳群発掘調査報告書の刊行 (専修大学・日本大学との共同調査) ・収蔵品の文化財科学的調査研究 (鶴見大学との共同研究) ・博物館常設展示リニューアルに向けての調査 ・企画展に向けての調査研究 ○美術館資料調査・研究 ・漫画コレクションの調査研究 (学習院大学との共同研究) ・企画展に向けての調査研究</p>
市民・団体等との連携	市民や川崎市に係る団体等との連携を図る。	<p>○市民館等での講座への講師派遣など ○かわさき市美術展など ○映像のまちとの連携</p>

(市民文化局市民文化振興室所管事業)

(2) 青少年育成事業

①地域の寺子屋事業

平成26年度から始まった市の地域の寺子屋事業に参画し、寺子屋先生等の人材を育成するとともに、市民による寺子屋の活動を支援する。

ア) 寺子屋先生養成講座事業の受託

イ) 中原区寺子屋ネットワークの活動支援

(教育委員会生涯学習推進課所管事業)

(3) 川崎市ふれあいネット「生涯学習情報」の管理

川崎市からの受託事業として、以下の業務を行う。

① 施設情報、講座情報、催し物情報、団体グループ情報及び指導者・人材情報を収集・整理し、「ふれあいネット」へのデータ入力により情報の提供を行う。

② 生涯学習情報に関わる問い合わせ・相談への対応

③ 「神奈川県生涯学習情報システム (PLANET)」との連携

(教育委員会生涯学習推進課所管事業)

IV 収益事業

1 生涯学習に関する多彩な体験講座事業

(定款第4条第1項第1号)

(1) スポーツ教室

市民が体力や状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加することで、健康な身体づくりと受講生同士の交流をめざし、「ヨガ」「気功太極拳」「ストレッチ&リズム体操」「ZUMBA(保育付)」「親子リトミック」「からだをつかって英語であそぼう!(親子)」などを、3期に分け、「健康・体力づくりスポーツ教室」として、各期13教室を実施する。

(2) 文化教室

市民が手軽に趣味や生活技術等を学ぶことや受講生同士の交流をめざし、「楽しく歌の教室」「メディカルハーブ&アロマセラピー」「ワインを気軽に楽しむ」など、春、秋、冬の3期に分け「キラリ文化教室」として、各期6講座を実施する。

(3) 陶芸教室

市民が陶芸を通して作品に対する豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流をめざし陶芸教室を実施する。3期に分け、各期4コース(水曜手びねりコース、土曜手びねりコース、水曜電動ろくろコース、土曜電動ろくろコース)を実施する。

また、初心者を対象とした「初心者陶芸教室」や広く受講生を募集する「陶芸『一般開放』」(木曜コース、金曜コース)を実施する。

(4) パソコン教室(共催)

パソコンの基本的な使い方から応用操作までを習得する講座を、NPO法人「RKH研究所」と共催事業として実施する。

講座名(各講座10名)		日数
初心者コース	ゆっくりじっくり初心者コース	5日間コース
初級コース	Word初級	各1日
	Excel初級	
中級コース	インターネット/ブログ/ツイッター/スマートホン	
	Word中級	Excel中級
	デジカメ入門	デジタル画像編集
上級コース	ビデオ編集	パワーポイント
	Word上級	Word/Excel パワーポイント
特別講座コース	ゆっくり初心者コース復習	各1日
	Word、Excel復習	
	デジタル画像編集復習	

2 生涯学習関連施設職員研修事業

(定款第4条第1項第5号)

(1) 川崎市放課後子ども総合プラン職員資質向上研修事業の受託

財団の生涯学習に関するノウハウを活かして、こども文化センター等職員を対象とした市の研修事業を受託し実施する。(こども未来局青少年育成課所管事業:4月入札予定)

V その他の事業（定款第4条第1項第5号）

1 職員研修

平成28年度職員研修計画

回	実施日	内 容	対 象
1	4月1日(金)	生涯学習財団について 規程、経理事務研修	新規採用職員
2	4月未定	コンピュータセキュリティ、 個人情報研修	指定管理施設を含む財団職員 (新規採用職員)
3	5月未定	生涯学習プラザ設備研修	指定管理施設を含む財団職員 (新規採用職員)
4	6月未定	応急手当研修・救命講習	指定管理施設を含む財団職員 (サマーキャンプ引率者必須、 新規採用職員)
5	7月未定	経理事務研修 マイナンバー研修	指定管理施設を含む財団職員 (新規採用職員、経理担当必須)
6	9月未定	Outlook研修	指定管理施設を含む財団職員 (新規採用職員)
7	10月未定	ワード研修基礎編	指定管理施設を含む財団職員 (新規採用職員)
8	10月未定	ワード研修応用編	指定管理施設を含む財団職員 (新規採用職員)
9	10月未定	エクセル研修基礎編	指定管理施設を含む財団職員 (新規採用職員)
10	11月未定	エクセル研修応用編	指定管理施設を含む財団職員 (新規採用職員)
11	12月未定	チラシ作成、 写真撮影等研修(予定)	指定管理施設を含む財団職員 (新規採用職員)

2 消防・防災訓練

(1) 平成28年8月29日(月)

訓練種別 避難訓練 「地震発生による避難誘導」

(2) 平成29年2月27日(月)

訓練種別 総合訓練 「出火を想定した消火訓練」